

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU  
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

No.1180

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1387回例会

職業奉仕月間・米山月間  
平成24年10月18日(木)  
友達を呼ぼう例会  
於 名古屋東急ホテル

出席計算数  
57名中44名出席  
出席率77・19%  
前々回出席率91・67%

例会プログラム

- 川口会員組織委員長
- 本日のゲストの紹介
- 岡村幹事白比野親睦活動委員長
- 渥美RC訪問のご報告
- 前田社会奉仕委員長
- 老人介護施設慰問のご報告
- 丹下職業奉仕委員長
- ハワイ例会について

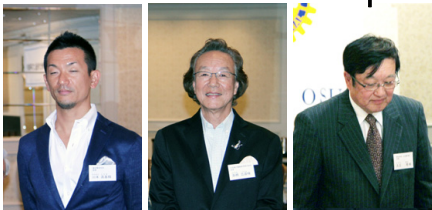
「ロータリーソング」

指揮者 岩崎 征一  
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

会組組織委員会ゲスト  
(株)入江設計室  
所長

- 入江 理さん
- 日本電子機器 販売(株) 会長
- 高橋 広壽さん
- 豊田整形外科 院長
- 川本 高基さん



(株)キャメロットコーポレーション 代表取締役 村田 吉文さん  
JPMORGAN アセツト・マネジメント (株)常務執行役員 名古屋支店長 金子 権一さん  
株みらいサポート代表取締役 日出 勝也さん

「ピシタ」

有田RC(第2740地区) 佐賀県 岩尾 慶一さん

「ニコボックス」

お世話になります。所用により早退致します。 岩尾 慶一さん  
久し振りに皆様にお会い出来ますのを楽しみにして参りました。

ゲストの皆様 大須ロータリーへようこそ、例会をお楽しみ下さい。  
鬼頭 茂成・岡村 隆徳  
高橋さんよつこそおいで下さいました。  
川畑 博敬  
高橋さんよつこそおいでいただきありがとうございます。本日ハワイ例会の資料をお届けしました。

お手続きよろしくお願い申し上げます。 柴岡 正将  
金子権一さん本日はようこそいらつしやいました。 大源 俊博  
日出さん、ようこそ、楽しんで下さい！ 宇野 史仁  
川本高基さんよつこそお越し下さいました。佐々木さんありがとうございます。 丹下 富博  
友達を呼ぼう例会です。友達を呼ぼう。 尾上 昇  
友達を呼ぼう例会にご出席ありがとうございます。 高木 政義  
V V 誕生日おめでとう。卓話も楽しみます。 岩崎 征一  
吉永小百合さんへの花束を作らせていただきました。ステキな花束と伝言をいただき感謝です！  
川口 小折  
佐々木さんホールインワンコンペお世話になりました。田崎 雅三  
佐々木さんありがとうございます。 木村 光徳  
佐々木さんありがとうございます。 杉本 英夫  
佐々木さんのホールインワンコンペで賞品をいただきました。 伊藤 与則  
ゲストの皆様をお迎えて。 小澤さん日曜はお疲れさまでした。佐々木さんホールインワンコンペありがとうございます。 春日井和良  
佐々木さんホールインワンコンペありがとうございます。 又章野

先生には勇敢な挑戦状を頂き、誠にありがとうございました。 日比野富士男

会長挨拶



会長 鬼頭 茂成

みなさんこんにちは。今日は会員組織委員会の「友達を呼ぼう例会」です。会員の友人の皆様、ようこそ大須ロータリークラブにお越しいただき。ロータリークラブの例会を楽しんで下さい。今日の卓話は、中国から留学している米山奨学生の「周珪」さんの「愛国心」です。さて、日本の社会では、京都大学の山中伸弥教授が、ノーベル医学賞を受賞が決まり大変面白い話題で沸きました。この「iPS細胞は、これから更に研究が進み、人類の生存に大きな発展をもたらす素晴らしい業績である」と思います。また、村上春樹さんが文学賞を逃したのも大変大きなニュースでした。賞を逃しても、村上さんの業績には何も影響がないと思います。村上さんを始め賞に値する方は大勢います。皆さんの業績、受賞を讃えたいと思います。ノーベル賞はダイナマイトを発明したアルフレッド・ノーベルの遺言で1901年に始まり、物理

学、化学、医学生理学、文学、平和、経済学の6分野が対象となつています。ノーベル賞と対比される数学のノーベル賞と言われている賞に、フィールズ賞があります。ノーベル賞には数学賞はありません。真相はわかりませんが、ノーベルとスウェーデンの数学者のレファリーの仲が悪かったからだと言われています。フィールズはカナダ出身の数学者で、ヨーロッパに留学中レファリーと深い親交があり、それが縁で国際数学賞の創設の夢を持ったと言われています。フィールズが亡くなった後彼の友人たちが賞を創設しました。皮肉なことに、ノーベル賞に数学賞がなかったのがフィールズ賞を生むことになったといえます。

フィールズ賞は1936年から4年に1度、40歳以下の数学者に4人まで授与されます。日本人では1954年の小平邦彦氏、1970年の広中平祐氏、そして、1990年の森重文氏の3人です。実はこの森重文氏が所長を務める京大の数理解析研究所教授の望月新一博士が、2012年9月18日に数学の難問とされている「ABC予想」を証明したとする論文をインターネットに公開しました。望月教授は現在43歳でフィールズ賞の対象にはなりません。実は、教授が論文を纏めたのは数年前のこと、この精査に何年もか

かり発表が今年になったということ。500ページに及ぶ論文を完全に理解するには何年もかかり、またこの理論を理解しているのは本人のみであろうといわれています。すぐに発表していれば2010年のフィールズ賞に間に合ったのと考えるのは下種の勘繰りでしょうか。様々な賞がありませんが実績、実力以外にも運がなければ届かないということを感じます。ご清聴ありがとうございます。

### 友達を呼ぼう例会



ロータリー活動と例会内容を理解して頂くことを目的に、6名の方々に参加いただきました。ご出席頂いたゲストの皆様ありがとうございました。

### 卓話

#### 「愛国心」

自己紹介と概要  
米山愛子生 周 玮

こんにちは、今年の米山愛子生中国の広州から参りました周玮と申します。今は、名古屋大学の文学部で社会学を専攻しております。

私は、2007年に日本に来まして、もつと5年経ちます。この5年間の留学は勉強はもちろんアルバイトや国際交流を通じて生活などにおいても学ぶことがたくさんありました。



さて、今回の卓話を頼まれた時に、せっかく皆さんから貴重な時間をいただくので、無駄な時間にならないように、できるだけいい話をしようと思決めました。しかし、やはり何を話すが戸惑いました。私の生い立ち？私の研究？時事問題？どんなテーマにしようかと悩みました。すると、ちょうどこの時に、私は中国にいて尖閣問題の論争によって引き起こされた反日運動が一番ヒットになっている時期です。その時に、一つのニュースが目についたので。9月15日に陝西省西安市内の反日デモで、日系車を運転していた李建利さんは、車を襲われ、車外に出て襲撃しないように説得したところ、デモの1人に頭を打たれて重傷」というニュースです。このニュースは、中国の国内でも

大きな反響になり、過激な「愛国運動」は多くの人に反省させられたのです。

これを見て、私は、自分の同胞に残酷な手を出した犯人に憤慨する一方、今中国で「愛国心」を掲げて暴行を犯し、身知らぬうちに自分や他人に大きなダメージを与えている国民に心が痛みました。「どうして、このよつな「愛国心」を持つているだろうか」、「このよつなナショナリズムは、どんな結果をもたらすだろうか」など、いろいろ疑問に思いました。

ですから、今日は、今回反日問題について話そうと思っています。内容は大きく分けて3つあります。まず、事件の原因とみられる中国の「愛国教育」、次に中国人の偏狭なナショナリズム、そして事件の影響と私の感想について話したいと思っています。もちろん、そもそも政治問題が好きではなく勉強不足の私は、政治の是非については一切意見を触れないつもりです。その代わりに、私が関心を持つている部分だけ、少し感想が述べられたらと思います。ややかたい話になるかもしれませんが、今回の事件は中国でどうなっているかそして中国人として何を考えているかなど、みなさんもきっとこの関心を持っていただいているのではないかと思うので、ぜひ最後までご清聴いただければ幸いです。

### 中国の愛国教育

私たちは、小さい頃から「愛国教育」を受け続けてきました。その内容は大きく分けて二つがあり、一つは「国家を愛する」、もう一つは「共産党に服従すること」です。「国家を愛する」とは、われわれの「祖国母親（Zu guo mu qin）」を愛することです。「祖国母親」は日本語で「母親の国」という意味です。この「母親としての国」は至高的な存在で、その元に、様々な顔を持つ56の「兄弟姉妹」がいて、「56の民族同胞によって1つの大家族が成り立つ」というように教わってきました。また、その一環として「歴史教育」で、高く民族精神を賞美し、「歴史を忘れては行けない」、「一致団結して外部と対抗すべきだ」などと強く訴えられてきました。また、「共産党を愛すること」も愛国教育の一環として欠かせないものでした。中国南京大学の社会心理学専門の翟学偉教授によると、中国人にとって「国家」とは「家」を拡大したものであり、国家指導者は一番大きな「家」の家長だと言われています。そのため、国という「家」を愛するだけではなく、この「家」を繁栄させた「家長」である共産党も絶対的に服従しなければならぬということになります。中学校の頃の政治科目の教科書



では、しばしば「共産党は最高の指導者である」などの内容が書かれており、それを暗記するとテストの時に必ず高得点になります。

それから、一番先入観がない幼稚園の時から、中国の国旗や愛国の童謡、共産党の良さを訴える絵本など、あるゆるところに愛国教育が行き届いています。小学校から高校まで週に一回全員が集まって国歌を歌いながら国旗の掲揚式を見ることもとても印象的なものでした。

その結果として、この70、80年代に生まれた若者は、みんなそろって「愛国心」を抱えているわけです。この「愛国心」は、恐らく他の大部分の国よりも強いものではないかと思えます。

『環球時報』が今年5月に、中国全国7都市の人を対象に「愛国」に関するアンケート調査を行った結果、98%の人が「自分は国を愛している」と回答しています。これは、フランスで聞けば、100人が100通りの答えがあると言われています。また、日本では、23年1月に内閣府によって実施された「社会意識」の世論調査で、「国を愛する気持ちの程度」という問題に対して、「強い」と「どちらかといえば強い」という答えを合わせて56・8%しか占めていないです。このように、中国は愛国教育に力を入れた結果、国民は普遍

的に強い「愛国心」を持っているのです。(中略)

### 日中友好、今こそ

今回の事件で、両国とも大きなダメージを受け、中日関係がもう一度傷つけられたことに大変残念に思います。しかし、今だからこそ偏狭なナショナリズムをやめ、両国における民間のつながりを強くすべきだと思えます。

中国でも大人気な村上春樹さんは、9月28日の朝日新聞投稿で尖閣問題をめぐる問題について、文化交流に及ぼす影響に対して憂慮を示したのです。極端的な「国民感情」は安酒の酔いに似ていると指摘し、「安酒はほんの数杯で人を酔っぱらわせ、頭に血を上がらせる。人々の声は大きくなり、その行動は粗暴になる。倫理は単純化され、自己反復的になる。しかしにぎやかに騒いだあと、夜が明けてみれば、あとに残るのはいやな頭痛だけだ」と説明しています。

私は、この「安酒」の例えはとも合っていると思います。また、彼は、両国の「文化圏」における発展は、「ここに来るまでの道のりは長かつたなあ」と感嘆し、「これから、安定したマーケットとして着実に成熟を遂げつつある『東アジア文化圏』に対して、国境を越えて魂の行き来する道筋を塞いではならないと強く訴えたのです。

そのほか、愛国教育の下で極端的な「ナショナリスト」は、すべての中国人ではないということに強調したいです。大部分の中国人は、中日関係や愛国運動について、理性的かつ正確的に理解できていると思えます。反日運動が白熱化している九月頃に、中国のツイッター(weibo)で、「理性的愛国」や「民間交流の大切さ」を提唱する人がコメントの大部分を占めたのです。私の周りには、相変わらず日本のアニメが大好きで、日本の電気製品を愛用して、日中

両国の友好を心から祈っている人がたくさんいます。私のおばさんは、今高校二年生の娘を日本へ留学させようと思つて、私にいろいろ聞いてきたので、今大変な日中関係、心配はないですか」と聞き返しました。「いや、それは全然だよ。国と国の政治問題で私たちの民間交流に支障がないよ」と答えてくれたのです。

一方、今回の事件で、中国側が反省すべき点はいつかあると思えます。過剰的で偏つた「愛国教育」は、国民の健康な心身発展と健全な社会環境の整備にとって本当に役に立つのか。そのような教育は、国民が偏狭的なナショナリズムに陥らせ、危険な状況を招きかねないのではないか。今の愛国教育の体制の妥当性をもつ一度反省すべきではないかと思えます。

そして、「愛国」の看板を掲げて、社会体制や自分自身の状況に対する不満を「はけ口」として暴行を起す人がいる中、今中国で深刻化している貧富格差や社会不平等などの問題に対し、もう一度社会体制を検討し、環境を整えるべきではないかと思えます。

それから、何より、日本に5年間留学に来て、多くの人に出会い、様々な知識を学び、たくさんの恩恵を受けてこれまで成長してきた私は、これ以上両国の関係が傷ついてほしくないと思つています。

私が生まれ育つた中国も、私が青春時代を過ごした日本も、私にとって同等に重要な「故郷」だと思つています。今は、両国関係は大変な時期だと思えますが、今だからこそ、人と人の交流を進め、平和の理念を1人でも多くの人に伝え、両国のつながりを強くすべきだと思えます。我々はたとえ話す言葉が違つても、基本的には感情や感動を共有しあえる人間同士なのだ」と村上春樹さんが言っているように、文化の交流に国境線はないと思えます。

そして、ロータリーのみならずも親睦のパイオニアとして、平和を通じて奉仕を」という理念の下で平和を推進し続けてきたのです。先月中国から戻って来て初めて例会に参加した時に、たくさんの方から「今、中国は大変でしょう。

君は大丈夫？」と聞かれ、そのような状況下でも、冷静に見ていただいて動揺せず平和を固く守つていただいているみなさんに、本当に敬服しています。

最後になりましたが、今回の事件について両国に与えたダメージを私は本当に残念に思います。しかし、微力ですが、中国と日本の架け橋として、両国の交流を深めていきたいと思えます。そして、ロータリーはそのような場を提供していただけたらと思います。これからも、ロータリーのみならず一緒に、親睦を深めて平和の輪を広げていこうと思つています。一刻も早く両国の平和と友好関係が回復できるように祈つております。本日は、ご清聴ありがとうございました。

### 「慈茶と圭里が

日本の良さを知る授業に参加」

新世代奉仕委員長 大原 敏正

10月11

日(木)留

学生2名は

中区にある

市立名城小

学校で、5

年生2クラ

スの児童と

「日本の良

さを知ろう」





のテーマで半日交流を楽しみました。

留学生は先ずそれぞれ黒板に「慈奈」「圭里」と漢字で上手に書き、先生や子供達を驚かせたのち自己紹介をしました。その後、子供達は事前調べの成果を少人数のグループで発表をしました。それぞれ工夫を凝らし、寸劇で日本人の挨拶の仕方やマナーの紹介、相撲の歴史や勝敗の見方、昔ながらのおもちや、お箸の持ち方講習、温泉の楽しみ方など思いもよらない切り口で日本の良さを紹介してくれました。お蕎麦の食べ方(すすり方)は留学生2名とも出来ないう上にマナー違反と考えていましたが、クラス全員が絶対その方が美味しいと意見噴出。クラス中が

爆笑の渦になりました。ただ一人台湾出身の児童は、国ではすらない、マナー違反と反論、今度は皆が驚きました。お箸の持ち方講習では留学生2名とも上手にお箸が使って拍手喝采。昔のおもちや紹介では「慈奈」が「だるま落とし」に挑戦、「圭里」は独楽に興味津々で授業後も子供達に囲まれ楽しんでいました。児童の中には帰国子女が3名おり、上手に通訳をしてくれたため理解が深まったようです。

留学生から見た日本の良さは「慈奈」が発表し、来日前は日本には自然が少ないと聞いていたが緑が多く、街がきれいな事、日本人は話の途中に相槌を打ったりよくお辞儀をする事に驚いた。食べ物も思っていたより口に合いラーメンが美味しい事、プリクラやカラオケが最高と上手に日本語で紹介してくれました。どれも子供達には驚きの連続で盛り上がり、時間が足りなくなりました。

2クラスでの交流後学校給食を食べ、掃除にも積極的に参加しました。「圭里」はジャンケンでトイレ掃除のグループに加わり奮闘。午後は校庭で運動会の再現をして一緒に楽しみました。留学生は常に人気者で、子供達が周りを取り囲んでいました。良い思い出にもなった事でしょう。

12月には規模を拡大して愛知高



等学校で市民も対象とする留学生口演会を準備しています。引き続き留学生のご支援にご協力下さい。

### 地区内交流

#### 渥美RC訪問の報告

幹事 岡村 隆徳

親睦活動委員長 日比野富士男



今年度は2760地区千田ガバナの方針で地区内交流を実施いたします。当クラブの三河地区パートナーの「渥美RC」さんに日比野親睦委員長と訪問いたしましたのでご報告いたします。

渥美ロータリークラブは田原市の旧渥美町を拠点とし昭和44年に設立されております。ロータリー100周年記念および設立40周年の際に300本の河津桜を

免々田川堤防に植樹され、毎年菜の花・桜まつりのイベントを積極的に推進されております。

今回交流イベントとして大須口ロータリーからは2月3日の節分例会、渥美ロータリーさんからは3月2日のこの桜まつりで行事を進めて行く予定です。川口会長ならびに三浦親睦委員長とお打合せ後、例会その後の桜保全作業に温かく迎えていただきました。今後の詳細スケジュールを両クラブの親睦委員会で進めてまいります。テーマ「春のすばらしい交流活動が実現できそうです。乞うご期待を。」

### 老人介護施設訪問

社会奉仕委員長 前田 隆久



10月14日(日)に老人介護施設「ゆうゆう倶楽部」としお」を訪問してきました。 Hammondオルガンの演奏と、ギター・の弾き語り、子どもコーラス「ポコ・ア・ポコ」の歌を楽しくていただきました。入居者のみなさんも一緒に、なつかしい歌を合唱した



りして、気持ちの良いなごやかな1時間でした。クラブメンバー11名に交換留学生ケイリーも参加して下さい、皆さんの協力で無事終了したことに、感謝しております。

### 11月1日(木)例会の案内

#### SPEAK OUT DAY

#### 広報委員会

近藤宏一郎・林 富徳  
杉浦 令淑・青木 靖高  
\*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。

